



連協道路ニュース

発行 横浜環状道路(圏央道)対策連絡協議会 事務局
Tel 090-4825-7174 <http://renkyoeditor.web.fc2.com/>
Mail: renkyoeditor@mail.goo.ne.jp

第322号

(創刊 1988.12.14)

2016.07.03.

原発汚染土の公共工事利用

『原発汚染土再利用について環境省は、一定の条件と対策下であれば放射性物質濃度がキロ当たり 8,000 ベクレル以下なら公共工事に使える』との方針を示した。

この程度の汚染土なら、厚さ 50cm 以上のコンクリートなどで覆えば、1m離れた場所で常時過ごす人の年間被ばく線量を 0.01 ミリシーベルト以下に抑えられると試算し、健康に影響はないとした。

原子炉等規制法で放射性廃棄物が制限なく再利用できるのは 100 ベクレル以下だが、環境省は、「再利用する場所が長期間掘り返されない道路や防潮堤などで、管理者も明確な公共工事に限定するため、問題ない」と説明。放射性物質汚染対処特別措置法に従い、一般廃棄物として処分が可能な同 8000 ベクレル以下を基準(※注)とした。

(※注) 普通に生活していれば、呼吸による吸入に加えて、目や口、傷口等から吸収してしまうリスクがあり、通常の生活ができる土壌の汚染度の限界は大人で 100 ベクレル/kg 程度が限界と考えられています。(出典;東京被曝情報)

最終処分先が未定の現在、この対応は放射性物質を全国に拡散することであり、癌等の発症する可能性がある。南線や上郷公田線でもこの汚染土や、汚染物質焼却灰混入セメントを使用することもありうる。



福島原発事故除染で野積みされた汚染土。管理は極めて杜撰。
永久処分先は今のところ無い。

私達地域住民はこの問題を取り上げ、監視していく必要がある。(西ヶ谷:高村)
(6/8日毎日新聞記事要約)

上郷公田線整備計画説明会

6月26日、27日に上郷地区センターに於いて市道路局主催説明会が開催された。両日参加者は150名前後で、2時間の予定を超過して活発な質問が続きました。全面トンネル化、緑道存続等多数の質問が出ましたが、一部道路が通行止め、ネオポリス前が一方通行、本線勾配8%のため騒音や排気悪化については説明なく会は終わりました。これらの件は住民の利害に係る問題なので、近隣住民や自治会に周知し、道路局と交渉して行きます。(ネオポリス 大橋)



(会場風景)

庄戸ボーリング説明会

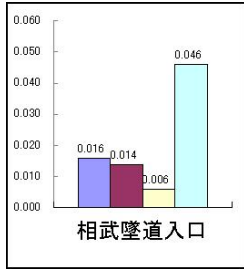
6月18日に標記説明会が庄戸コミュニティーにて、国交省2名、NEXCO5名、業者2名、住民側から30名の参加を得て開催された。

事業者はしたたかに着々と工事段取りを組み、攻め込む体制を整えています。業者は言いました。「反対のないところから始めさせていただきます」と。私たちが少しでも抗議の声をあげなければ、あっという間に押し切られてしまうでしょう。やはり抗議は続けてなければいけないとひしひしと感じさせられた説明会でした。「知らぬが仏」では済まなくなる事態が迫っていることを早く皆さんに気づいていただきたいと思えます。(庄戸三 鈴木)

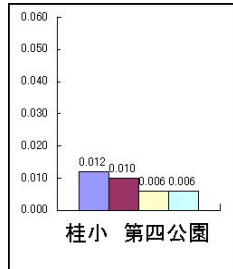
平成28年6月期のNO₂定点測定結果まとまる

連協環境部では各団体参加のもと、毎年6月と12月の2回第一木、金、土曜日を使って栄区内の定められた場所50箇所に 二酸化窒素の濃度を測定するカプセルを設置して、所謂定期定点観測を続けております。今回は晴れ、4から6m/sの風の中での測定でした。

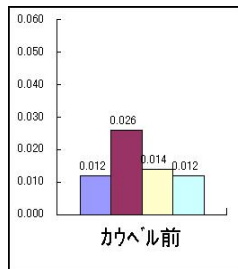
以下に主な測定点の過去4回の測定値とグラフをしめします。いずれも環境基準内です。
 環境基準:0.060ppm (0.020ppmが最初の基準、達成できず、緩和された)



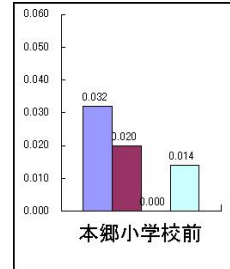
①



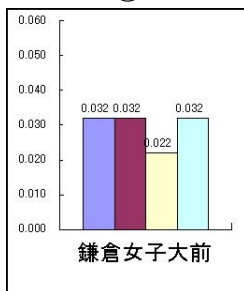
②



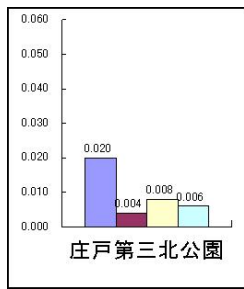
③



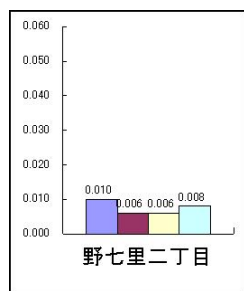
④



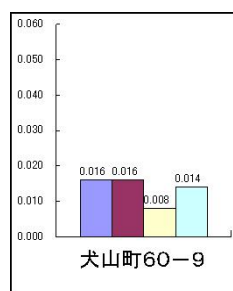
⑤



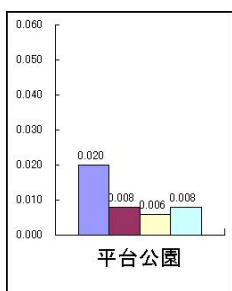
⑥



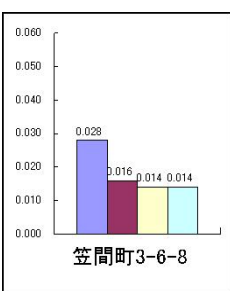
⑦



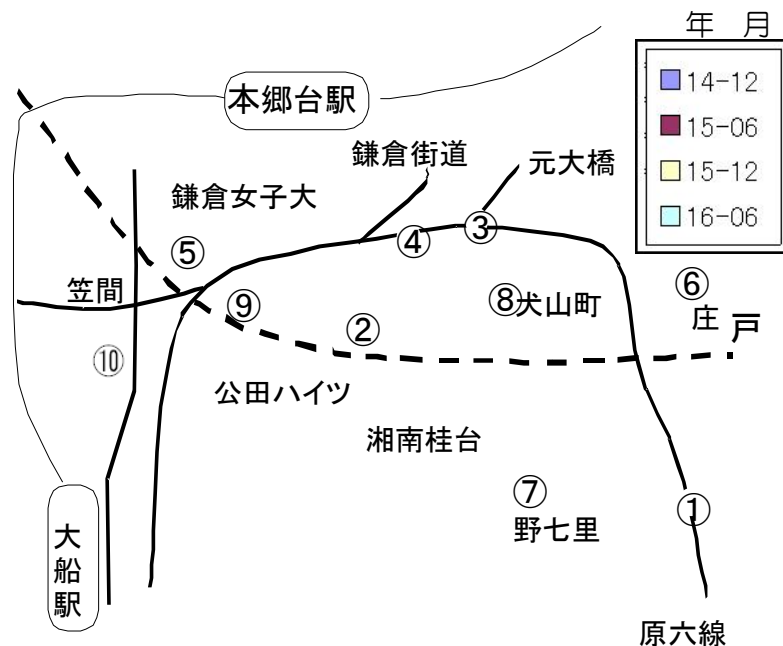
⑧



⑨



⑩



対外活動報告

- 06/06 県公害審査会第25回調停 (大気予測手法問題)
- 06/18 庄戸地区ボーリング事業者説明会 (庄戸三丁目町会向け)
- 06/20 行政不服審査請求について「異議申し立て棄却」の決定書受理社会資本審議会議事録開示請求について黒塗り開示は不当として不服審査請求した件)
- 06/26~27 上郷公田線整備計画説明会 (地区沿線向け)